

県営処分場エコグリーンとちぎ安全推進協議会 第4回会議

エコグリーンとちぎの情報発信について

# 情報発信について

- ・ 県は、那珂川町と締結した環境保全協定に基づき、エコグリーンとちぎについて、HP等により積極的に広く情報発信を行うこととしています。
- ・ 運営開始(R5.9月)以降は、処分場の運営状況や環境調査の結果等について、町民向け広報誌やHP等により情報を公表するほか、場内のライブ映像の放送や施設見学の受入れなど、様々な媒体を用いた情報発信に取り組んでいます。
- ・ 循環型社会の更なる推進や環境学習の理解促進に向け、今年度から、新たに環境学習サイト「まなびのもり」を公開しています。



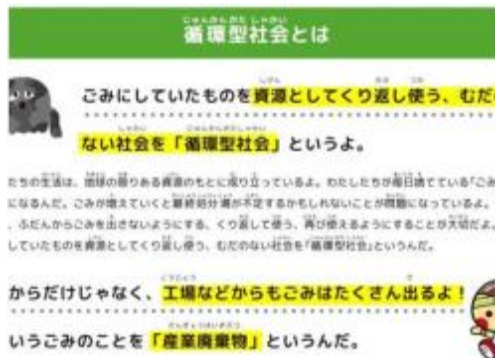
①環境学習サイト「まなびのもり」の公開

エコグリーンとちぎの開業を契機に環境問題と向き合うきっかけを作り、考え、学ぶことを目的として制作したサイトです。

<https://ecogreen-tochigi.pref.tochigi.lg.jp/>



- (1) エコグリーンとちぎの各施設内を実際に訪れたような感覚で見学ができる V R ツアー
- (2) 那珂川町の地元学校や環境関連施設の取り組みを映像で紹介
- (3) 小学生の利用を想定した子供向けページや環境に関するクイズ・ワークシートを掲載



②運営状況の公表

施設の維持管理計画や毎月の埋立廃棄物の種類及び数量、施設の点検状況などについて、クリーンテックとちぎのHPで公表しています。

(クリーンテックとちぎHP)  
[www.clean.ne.jp/tochigi/index.html](http://www.clean.ne.jp/tochigi/index.html)

③環境調査結果の公表

環境調査の結果について、「広報なかがわ」や県HPで公開しています。

(広報なかがわ)



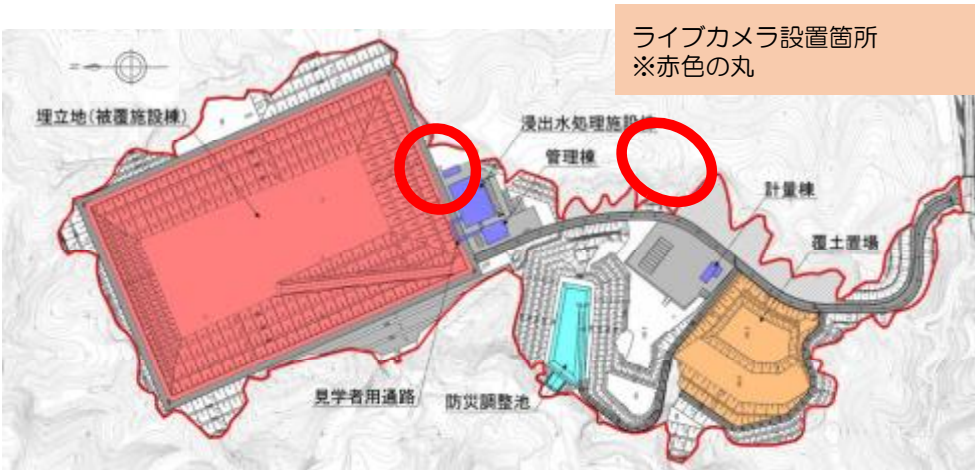
④場内のライブ映像の放送

那珂川町ケーブルテレビを活用し、エコグリーンとちぎライブ放送のチャンネルにおいて、被覆施設棟内及び計量棟の様子を24時間放送しています。

(被覆施設棟内)



(計量棟)



ライブカメラ設置箇所  
※赤色の丸

⑤安全推進協議会の開催・結果

地域との情報共有を図るため設置した安全推進協議会を公開により開催するとともに、会議の結果等について、県HPやグリーンライフなかがわで公表しています。

(安全推進協議会の様子)



(グリーンライフなかがわ)



⑥地域住民向け報告会の開催・結果

エコグリーンとちぎの運営状況等を地域の住民の方に説明する場として地域住民向け報告会を開催するとともに、その結果等について県HPで公表しています。

(県HP)

### 県営処分場エコグリーンとちぎ地域住民向け報告会について

県と那珂川町が締結した環境保全協定に基づき、県営処分場エコグリーンとちぎの運営状況等について、地域との情報共有を図るため、地域住民向け報告会を次のとおり開催しております。

#### 実施根拠

- ・ [県営処分場エコグリーンとちぎに係る環境保全協定 \(PDF: 765KB\)](#)
- ・ [県営処分場エコグリーンとちぎに係る住民による処分場監視システムに関する要綱 \(PDF: 90KB\)](#)

#### 開催及び結果

- ・ 第1回報告会 (令和6年8月24日)

[開催について](#)  
[結果について](#)

⑦施設見学の実入れ

那珂川町民をはじめ県民の皆様に、エコグリーンとちぎについて理解を深めていただくため、令和5年11月から施設見学の受入れを随時行い、令和7年6月末までに925人の方に見学いただいています。

(大会議室)



(管理棟内)

(被覆施設棟内)





代表取締役 安藤 由紀男

あけまして  
おめでとう  
ございます

一昨年9月の開業から1年以上が経過し2回目の新年を迎えることができました。昨年は北沢地区の不法投棄物撤去工事およびエコグリーンとちぎでの受け入れ作業が本格化し、これまでに全体の約45%の撤去工事を完了することができました。また、栃木県内唯一の管理型処分場として県内の事業者様からも広くご認識いただけるようになりました。

私たちは安全で安心できる美しい最終処分場の維持管理に努めておりますが、地域の皆様の温かいご理解とご協力がなければこのような順調な操業は果たせません。改めまして心より深く御礼申し上げます。

不法投棄物の撤去工事につきましては運搬作業が非常に重要となります。ご協力いただいております運搬会社の皆様にも細心の注意を払いながらご対応していただいておりますが、不法投棄物に限らず栃木県内の産業活動で発生する廃棄物の取扱量も徐々に増加傾向にあります。これらの運搬も含め運搬車両が生活道路を通行することに不安な心持を抱かれた方々が数多くいらっしゃるのではないのでしょうか。「声なき声に耳を傾ける」とは申しますが、言葉を発することなく我慢をされていらつしやる方々の気持ちにどれだけの「思い」を「はせる」ことができるのか。私たち事業者のみならず、この事業に携わっている多くの方々がそれぞれの形で心に留めている課題となっています。

私共グループが長年追い求めてきた「ともに生きる」という理念はこうした思いの中から生まれました。今を生きる人々のお気持ちに寄り添うことはもとよりですが、過去を生きた人々、そして想像力を働かせてまだ見ぬ未来の人々のお気持ちへ寄り添うことがとても大切であると考えています。人が故郷へ持つ「郷愁」は、人の持つ感情の中で最も深いものであると何かで読んだことがあります。「郷愁」は家族や友人への深い愛情が

もともとなっているからこそ、すべての感情の根源となっているはずです。そこには生きとし生けるものの全て「命あるもの」への慈しみがあります。川のせせらぎ、鳥のさえずり、夏の日の虫の音、新緑の木々、月明かりの中で目にする美しい里山の花々や星空、それらは家族の思い出と共に深く美しくあります。

さらに日本語には「ご先祖様」という言葉があります。近年では非常に抽象的あるいは宗教的な意味合いで捉えられることもあるかもしれませんが、しかし本来は、自らの両親や兄弟につながる心温まる生きた姿として、祖父母や曾祖父母、多くの肉親の方々の生身の姿、匂いや肌触り感のある現実の姿がそこにはあったはずです。その方々が今を生きる私たちに何を託して何を伝えようとしたのか。それを感じて考えることが本当の生きた意味での「環境」であると思います。

私共が大切にしたい「環境」は、いわゆる「環境保護」といった言葉で語られるものとも異なる視点となります。測定値や数値管理だけでは本来の「環境」の意味を曇らせる恐れがあります。鳥のさえずりも虫の音も聞こえない都心であっても環境計測における数字の世界では数値条件を満たしていることでしょ。基準値を満たすだけでは何か足りないのではないかと、という感覚は自然なものだと感じています。だからこそ「環境」は守るだけでなく未来に向けて創り出していくものだと考えています。

「ともに生きる」この言葉は、時を超えて「本当に重要なものは何か」を追い求める姿勢を表現したものです。私共はこの姿勢を持ち続け多くの関係者の皆様とともに「環境」を創り出して参りたいと考えています。すでに失われた部分があるかもしれないませんが「環境」を「守るもの」として捉えず、「創り出すもの」として考えれば、時を超えて未来へ託すことができると思っています。

お正月という節目に、遠く離れたご先祖様に思いをはせ、天を敬い、そして今を生きる皆様と寄り添いながら晴れやかな新年を迎えられることに感謝申し上げます。

末筆とはなりますが、本年も皆様のご協力をお願い申し上げますとともに、この自然豊かな地域のさらなる発展と、皆様のご健康とご多幸を祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。

昨年10月に処分場責任者に就任しました宮田です。

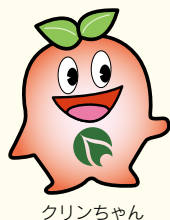
平成13年にグループ会社のクリーンテックに入社し、そこで得た技術と経験を生かし、平成29年からはエコグリーンとちぎの立ち上げに携ってきました。運営されている今日に至るまで沢山の方々が関与され、様々な思い、願いが込められている施設であることを目の当たりにし、その責任の重さを感じております。地域の皆様、事業者の皆様、関係行政の皆様から信頼を得られるよう、日々の業務を積み上げて参ります。

余談になりますが、私は東北の小さな町で生まれ育ちました。初めて那珂川町を訪れた時、のどかな田園や清らかな清流が自分の故郷に重なったことを覚えております。那珂川町の歴史や文化、行事などを見て、触れて、学ぶようにしたいです。

処分場責任者  
宮田 昭宏あけまして  
おめでとう  
ございます本年もどうぞよろしく  
お願いいたします

2025





## 那珂川町とともに



### 2024年10月27日 小砂焼き陶芸体験

栃木県特産品百選・栃木県伝統工芸品に指定されている(那珂川町の)小砂焼の窯元である藤田製陶所様にて陶芸体験をしてきました。初めにレクチャーいただき、「さあ! 回る粘土との対決スタート!」。この粘土の感触がとても気持ち良かったです。

先生にお手伝いいただき、苦戦しながらもなんとか形になりました。そのあと絵付け体験もし、個性豊かな形が並び、皆自身の作品を楽しそうな表情で眺めていました。

体験後には作業場も見学し、粘土になる前の原料も見せていただきました。現在も小砂地区で取れた砂を原料としていただいているとお聞きし、伝統工芸を受け継がれていることに感慨深いものを感じました。

私たちの作品は次号で紹介します。乞う! ご期待。



見事な  
お手前!!



写真右 藤田真一様



写真左 藤田悠平様

### 第3回なかがわ清流マラソン大会の結末は?

2024年11月10日(日)開催の「第3回なかがわ清流マラソン大会」にヤル気満々でエントリーし、ロゴマーク付きユニフォーム等、事前準備は万端でしたが、大会前日に膝を痛めて棄権という残念な結果に終わってしまいました。(トホホ)

皆さんと楽しく走りたいので、来年は是非、会場でお会いしましょう!(シニアの有志より)



### 年末煤払いの巻

去年は多くのお客様の来場機会を得て、「エコグリーンとちぎ」の果たす役割や運営・維持管理状況を広く知っていただけたことに感謝しております。1年間の埃をきれいに落し、本年も皆様方のご来場を、職員一同、心よりお待ちしております。



### 周辺 環境調査



▲HPIはこちらから

『県営処分場「エコグリーンとちぎ」に係る環境保全協定』に基づき、環境調査を行っています。主に地下水質と空間放射線量率のモニタリングを定期的に行っています。現在、周辺環境の変化は確認されていません。また、詳細については、弊社ホームページに環境保全協定に係る測定結果を掲載しています。左のQRコードからアクセス可能です。



◀ 9月に実施した計量証明機関による採水

お問い合わせ  
相談窓口

株式会社 クリーンテックとちぎ  
栃木県那須郡那珂川町和見 1918 番  
TEL.0287-82-7000 Fax.0287-82-7081  
URL: <https://www.clean.ne.jp/tochigi/>

防災  
特集

## 『いざという時のために!!』

当社は、「エコグリーンとちぎ」の運営に長期間携わっていくことに際し、大地震や大雨等による災害の発生を想定し、設備の管理や訓練を進めています。当該号ではその概要と取組み状況を紹介させていただきます。



## 防災対策のご紹介

## ● 自家用発電設備

埋立廃棄物が保有する汚水の処理に必要な水処理施設の機能を維持するため、大規模停電の際には発電設備を稼働し対応します。また、管理棟内の照明やコンセントにも電気の供給が可能となっています。



## ● 太陽光発電設備

水処理棟の屋根に太陽光発電設備を設置しており、得られた電力を日常的に管理棟内の照明や事務機器に使用しています。



## ● 消防設備

火災が発生した場合にいち早く検知するために自動火災報知器などを各所に設置しており、管理棟内で火災信号を確認することができます。また、初期消火に備え、消火器や小型消防ポンプを設置しています。



火災報知器受信盤



自家用小型消防車

## ● 防災備蓄品

浸水や土砂崩れなどにより道路の通行が妨げられ、避難行動が容易に取れなくなることを想定し、飲料水・食料品・敷マットや毛布を備えています。



保存食(パン)



保存食(ご飯類)



不織布毛布



保存水

## ● 緊急事態対応訓練

クリーンテックとちぎ通信 vol.2 号で消防訓練について紹介しておりますが、災害によって生じる設備異常を想定した訓練についても計画的に実施しています。訓練の結果を基に、対応手順の見直しや不足している備品等の確保を行っています。



## ● 急病人等の応急救護

急病人の発生に備え、AEDを管理棟と計量棟に設置しています。また、AEDの取扱いや心肺蘇生措置の訓練を行っています。



私たちの  
取組み方針に  
ついて

「エコグリーンとちぎ」の運営を開始してから2年の月日が経とうとしています。地域住民の方々と交流する機会も、僅かながらではありますが、持たせていただいております。防災備蓄品について紹介しましたが、飲料水や食料品は3日間程度の量を備蓄しており、災害発生時は一時的な避難場所として管理棟内の大会議室を開放する用意をしています。微力ながら地域の皆様方のお役に立てるような活動を継続し、地域密着型の企業を目指します。



# 那珂川町とともに



## 完成しました！私たちの小砂焼き



昨年10月27日の小砂焼き陶芸体験について前号でご紹介しましたが、焼きあがった私たちの力作と、ついに対面しました！

それぞれ色合いや質感が異なっており、想像を超えていました。その重厚さ・つやつや具合は感動モノ。各々に絵付けした湯呑は個性豊かなものが並び、その後の社内作品展が大いに盛り上がったのは言うまでもありません。

ちなみに、私の作った中鉢は毎日の食卓で活躍中です。さて、次の那珂川町探訪はどこかしら？

## 田植え体験 (2025年5月25日)

「棚田オーナークラブ」(小砂里山農業体験)に参加しています。田んぼに足をヌルっとつっこみながら人生初の田植え作業を体験してきました。日本の原風景とも言える棚田の景色は格別！

初めましての方が多くなか、共同作業を通じて一気に距離が縮まります。気持ちよく汗を流したあとは、地元の馬頭温泉へ。最高の一日でした。参加して本当によかったです。

今回の体験は、いよいよ稲刈り！とても楽しみです。



ズボってびって、  
体全部入っちゃうかと思った。  
めるめるして楽しかった。



田植えは楽しくて  
ご飯美味しかった。

## エコグリーンとちぎへようこそ (2025年5月27日)



馬頭高校の1年生の皆さんがエコグリーンとちぎにいらっしゃいました。

馬頭高校では那珂川町、地元企業、そして地域住民の方々と交流を深めながら体験活動や探究学習を行う「那珂川学」をカリキュラムとして取り入れており、環境をテーマとした課題研究に取り組むにあたり、エコグリーンとちぎを見学していただきました。初めて最終処分場を見学する生徒さんが大多数で、施設の広さに驚かれていました。見学では廃棄物の種類や管理方法、埋立地の構造や水処理の仕組みなどについて説明し、理解を深めていただきました。

限られた時間でのご案内となりましたが、生徒の皆さんの取り組みに少しでも役立つことを願っています。



### 周辺 環境調査



『県営処分場「エコグリーンとちぎ」に係る環境保全協定』に基づき、環境調査を行っています。主に地下水質と空間放射線量率のモニタリングを定期的に行っています。現在、周辺環境の変化は確認されていません。また、詳細については、弊社ホームページに環境保全協定に係る測定結果を掲載しています。右のQRコードからアクセス可能です。



▲エコグリーンとちぎの  
運営状況はこちらから



6月に実施した計量証明機関による採水



お問い合わせ  
相談窓口

株式会社 クリーンテックとちぎ  
栃木県那須郡那珂川町和見 1918 番  
TEL.0287-82-7000 Fax.0287-82-7081  
URL: <https://www.clean.ne.jp/tochigi/>

許可  
品目



許可品目は  
こちらから  
ご覧ください。